

梅鶯仏教壮年会報

第85号
2011年
1月9日

謹んで新年の
ご挨拶を申し上げます

梅鶯仏教会員のみなさまにおかれましては、それぞれ行く年来る年に思いを馳せ、麗しく新しい年をお迎えになられたことと存じます。

大晦日恒例の「除夜会竹灯籠の夕べ」は、あいにくの悪天候により中止となり残念でしたが、本年も梅鶯仏社の諸活動を宜しくお願い申し上げます。

なお、本年はいよいよ親鸞聖人七百五十回大遠忌法要が、ご本山において勤められます。

明年度の活動計画で正式に決定して頂くこととなりますが、梅鶯仏社といたしましては坂田組の団体参拝に同行するかたちで、是非とも参加致したいと考えます。

日程は左記の通りでありますので、今からご予定をして頂きたいをお願いを申し上げます。

親鸞聖人七百五十回大遠忌法要

十月十五日(土)

※坂田組団体参拝指定日

ミャンマー(旧ビルマ)

の仏跡を訪ねて⑤

副会長 森 勝昭

2月28日(三日月)

*前号からのつづき

お釈迦さまが入滅された後に、教えを正しく守り伝えるための結集が、これまでに何度か開催されました。



結集とは、經典編集のための弟子達の集会のことですが、当初の結集は文書ではなく口伝えにより確認されたそうです。

その理由は、当時の社会では、尊い方のお話しを文書で伝えるのは不遜であると考えられ、口伝えにより受け継がれたからだそうです。



瓜生津隆真先生(中央)と筆者

あります。したがって、お釈迦様の教えが文書で残されるように、つと後のことだそうです。

【結集開催の歴史】

第1回・・・釈迦入滅の年
第2回・・・入滅後100年
第3回・・・入滅後200年
第4回・・・紀元二世紀頃
そして第5回が1871年(明治4年)に、ここマンダレーで開かれていきます。

招集された比丘の数2,400名、聖典の確認と誤りがあれば正していく作業です。一説には世界仏典会議が開催されたこともあります。

マンダレーヒル標高236メートルの高さでマンダレー最大の聖地、丘全体が寺院となっている。参拝、ここが大変だった。軽トラを改造した8人乗り、車検に通らないような車で、燃料はメタンガスのボンベを積んでいる。ガタガタ道で砂埃をかぶりながら山頂を目指しました。

みんな、きやあきやあ!!と叫びながら振り落とされぬようにと手すりにしがみつくながら、美しい夕日を鑑賞しました。



前号からのつづき

